

<61> 指揮者のために。弦楽器に合わせて。
ダビデによる。

61:1 神よ私の叫びを聞き私の祈りに耳を傾けてください。

61:2 私の心が衰え果てる時私は地の果てからあなたを呼び求めます。どうか及びがたいほど高い岩の上に私を導いてください。

61:3 あなたは私の避け所敵に対して強いやぐら。

61:4 私はあなたの幕屋にいつまでも住み御翼の陰に身を避けます。セラ

61:5 神よまことにあなたは私の誓いを聞き入れ御名を恐れる者の受け継ぐ地を私に下さいました。

61:6 どうか王のいのちを延ばしその齢を代々に至らせてください。

61:7 王が神の御前でいつまでも王座に着いているようにしてください。恵みとまことを与えて王をお守りください。

61:8 こうして私はあなたの御名をとこしえまでもほめ歌い日ごとに私の誓いを果たします。

ダビデがアブシャロムに裏切られて、命の危険にさらされたゆえに逃れているときの歌と思われます。「叫び」が出るほどの状況です。どれほど精神的に追い詰められたかと思われますが、そのようなときにダビデは神に向かっています。

ここにクリスチャンの信仰があります。信仰とは信じる力で乗り越えるのではなく、神に依り頼んで乗り越えさせていただくのです。信仰が強いから戦えるのではなく、弱いからこそ主に頼んで、主に戦っていただくのです。試練にある人はそのような考えを持ちましょう。

そのとき、主は「強いやぐら」と分ります。

5節以下の希望の告白に導かれるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

